



平成 21 年 10 月 29 日

各 位

東京都品川区東品川 2 丁目 4 番 1 1 号
株 式 会 社 J A L U X (ジ ャ ル ッ ク ス)
代 表 取 締 役 社 長 田 島 伸 一
(東 証 1 部 コード番号 : 2 7 2 9)
お 問 い 合 わ せ 先 経 営 企 画 部 長 曾 我 英 俊
(T E L 0 3 - 5 4 6 0 - 7 2 3 3)

**平成 22 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 業 績 予 想 値 と 決 算 値 と の 差 異
お よ び 通 期 業 績 予 想 の 修 正 並 び に 特 別 損 失 の 発 生 に 関 す る お 知 ら せ**

平成 21 年 4 月 28 日に公表した平成 22 年 3 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 の 業 績 予 想 値 と、本 日 公 表 の 当 該 連 結 累 計 期 間 決 算 値 に 差 異 が 生 じ ま し た の で 以 下 の と お り お 知 ら せ い た し ま す。あ わ せ て 平 成 22 年 3 月 期 通 期 の 業 績 予 想 に つ き ま し て も、以 下 の と お り 修 正 を い た し ま す。

1. 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 の 業 績 予 想 値 と 決 算 値 と の 差 異

(1) 第 2 四 半 期 連 結 業 績 予 想 と 決 算 値 と の 差 異

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位 : 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	52,000	100	100	0	0 円 00 銭
今 回 実 績 (B)	51,017	△169	△277	△204	△16 円 06 銭
増減額 (B-A)	△983	△269	△377	△204	—
増減率 (%)	△1.9	—	—	—	—
前期 第 2 四 半 期 実 績	57,492	907	987	410	32 円 17 銭

(2) 差異の理由

B to B ビジネス (主に事業会社向け事業) において、現下の航空業界の急激な需要減退に伴い、航空関連事業の収益が大きく落ち込んだこと、並びに B to C ビジネス (主に消費者向け事業) においては、フーズビバレッジ事業が増収を確保したものの、航空旅客数の減少や個人消費における節約志向の高まりなどを受けて、機内販売事業や空港店舗事業が低調に推移したことなどにより、前回予想値を下回る結果となりました。

2. 平成 22 年 3 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正

(1) 通 期 連 結 業 績 予 想 数 値

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位 : 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	110,000	1,000	1,000	400	31 円 35 銭
今回修正予想 (B)	106,000	△500	△600	△1,400	△110 円 27 銭
増減額 (B-A)	△4,000	△1,500	△1,600	△1,800	—
増減率 (%)	△3.6	—	—	—	—
前期 (平成 21 年 3 月 期) 通 期 実 績	113,225	601	1,358	392	30 円 74 銭

(2) 業績予想の修正並びに特別損失発生の理由

世界的な景気の後退を背景とした企業業績の停滞や個人消費の落ち込みは予想を上回るものとなり、当社の主力事業である航空事業分野およびリテール事業分野においても事業環境は過去に例を見ない厳しいものとなりました。当社グループの業績は第2四半期において改善傾向が見られたものの、第1四半期の損失を補うまでには至りませんでした。このような状況を受けて平成22年3月期の業績回復に向けて、経費節減を中心とする短期的緊急業績対策を実施しておりますが、景気低迷は長期化の様相を呈しており、残念ながら通期の業績は大変厳しく推移する見通しです。

このような経営状況を受けて、当社は平成21年10月29日の取締役会において、平成22年度以降、中長期的且つ安定的な黒字化と景気回復後の成長の実現に向けて、選択と集中による重点事業強化と収益構造の抜本的な改革による企業体質強化を骨子とする事業構造改革実施を決議いたしました。

これに伴い事業構造改革費用として、今期中に約1,400百万円の特別損失の発生が予想されることから、今期の業績予想は前回公表した予想値を大きく下回る見込みとなりました。

(注) 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素によって、実際の業績とは異なる場合があります。

以 上